

# カワイ過ぎる 防災女子

佐々木ゆか

全国各地で行われる防災・消防イベントに引っ張りダコの「カワイ過ぎる防災女子」がいる。歌手、モデルで活動する佐々木ゆか(21)は、消防士への応援ソングをリリースし、「ファイヤー・ファイター・ガール」として、話題になっている。「消防士の妹」が防災への熱き思いを語った。

ささき・ゆか 1996年7月28日、茨城県生まれ。2015年に東京カールスオーデション・アーティスト部門ファイナリスト選出。17年にデビューシングル「君と赤い花」をリリース。5月31日〜6月3日までの「東京国際消防防災展2018」で近代消防社のブースに参加。身長158cm。AB型。



愛らしい笑顔で「消防士の妹」とかわいがられる佐々木。放水活動も板についてきた

デビュー曲「君と赤い花」が消防応援ソングとして話題に

消防士への応援ソングで熱が入る

活動のきっかけは自宅の火事  
— 昨年、リリースしたデビュー曲「君と赤い花」が消防応援ソングで話題になった。なぜ消防士を題材に?  
佐々木 小学5年生の時に自宅が火災に遭い、全焼してしまっただけです。幸い、消防士さんたちのおかげでケガはなく、足が悪かったです。

おぼあちゃんも助けてもらった。恩返ししたいという思いがあって、歌に込めました。  
— 消防士からの反応は?  
佐々木 応援ソングなので、明るい曲をイメージされたのですが、感動するよな歌詞ですねとよく言われます。「守りたい」というサビが、一番共感しても

うサビが、一番共感しても

## 「水の女神」として防災の大切さを伝えていきたい

「水」は「火」と対する。最初は歌手として、みなさんに聞いてもらいたい目的だったが、消防士さんの活動や被害に遭った人の話を聞く中、私も防災の大切さを伝えていきたいという思いが強くなった。  
— 防災のトレンドは女性目線で、各社が力を入れている  
佐々木 防災グッズとか見ても、どうしても男性目線で作られたものが多い。女性ならではのアイデアやきめ細かさを生かせれば、より防災への備えや意識は高まっていくと思う。

— やはりタイプは消防士・ガールなので「水で火を消したい」からウォーター賞狙いで、本当になれました(笑い)。  
— 「水の女神」として今後の活動は?  
佐々木 水難救助活動で救護作業ができるエアボートを取得できる2級免許を取りました。防災士資格や関連の国家資格、救難活動用ドローン操縦士資格などを取りたくて、勉強している最中です。私の活動を通じて、若い人や女性をはじめ、少しでも多くの人に防災の大事さを知ってもらえたらと思います。

(聞き手・小林宏隆)

## 佐藤優氏が語るマルクス波乱の人生

生誕200年

本紙「マンデー激論」でおなじみ、元外務省主任分析官で人気作家の佐藤優氏が21日、東京・神田の岩波ホールで開かれた映画「マルクス・エンゲルス THE YOU NG KARL MARX」のトークイベントに出席した。

佐藤氏は「アメリカ人に(日本映画の)ゴジラはうける。だが、マルクスの映画は『なぜお金儲けが悪いことなのか?』と考えて、理解できないと思う」と話す。

「マルクスの奥さんが天然痘を患った。この時期にマルクスは、お手伝いさんのメイドをばらませたのに認知しなかった。どうしたのかといえは、親友のエンゲルスに認知させたんです」



トークイベントに出席した佐藤氏

今年で生誕200年のカール・マルクスは、ドイツの経済学者で、フリードリヒ・エンゲルスの協力を得てマルクス主義を打ち立て、資本主義に対して、共産主義社会が到来することを説いた。

同作品は、ドイツ、フランス、ベルギーを舞台にマルクスとエンゲルスが「今日までのあらゆる社会の歴史は、階級闘争の歴史である」という有名な言葉で始まる共産党宣言を執筆するまでの日々を描いている。

さらに、「マルクスは就職しなかった。お金がなくとも(ワインの)ボルドーが好きで飲みたかった。エンゲルスに『旅行に行く』『手紙に書いては、当時として相当の金額のお金を無心した。ひどい人です。しかし、歴史上の大物人物はこういう人がいるんです』と佐藤氏。エンゲルスの懐が深くなければ、マルクスは歴史に名を残せなかったかもしれない。